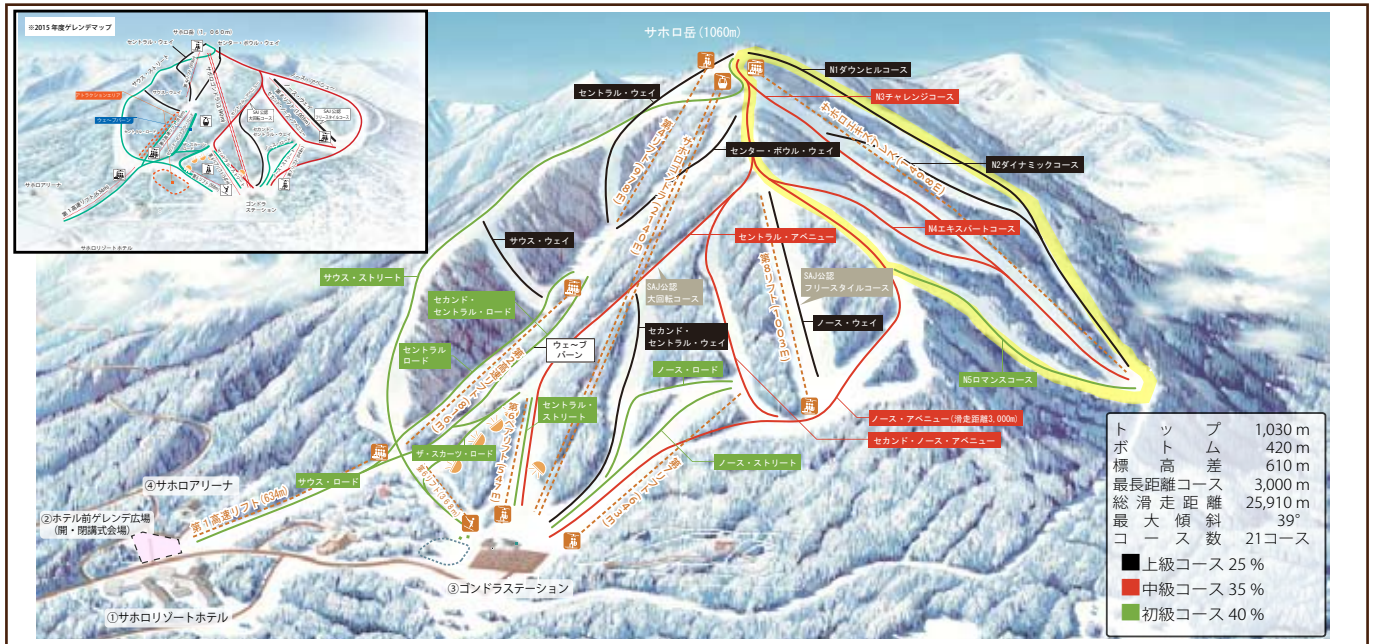


# トレイルマップ



## スキー講習の特徴



### 特徴①世界に誇る「雪質」と晴天率の良いスキー場

世界屈指の「パウダースノー」なスキー場。十勝西部の内陸地域のため、雪質は日本海側の湿った重雪と違い、軽いパウダースノーで足が疲れにくく大変滑りやすい雪質となっております。そのため、ゲレンデがひどく荒れることも少なく、スキーの技術を習得しやすいのが魅力です。サホロのある十勝地方は晴天率が高く、青空の下でウィンタースポーツが楽しめます。スカッと晴れた日には十勝平野の向こうにキラリと光る太平洋が見えることもあります。



### 特徴②「滑走中に迷わない」「管理のしやすい」安心のゲレンデ

「すり鉢上のゲレンデ」は、北海道内大型スキー場の中でもサホロの大きな特徴です。メインとなるコースのほとんどが『ゴンドラステーション』に向かって滑り降りるコース設計。滑走中の生徒様が迷うことなく、また管理しやすい安心のゲレンデです。

### 特徴③初心者優しいゲレンデ

ホテル前ゲレンデはホテルから徒歩1分。ほぼ平らで広大なゲレンデでは最初の講習を怪我無く楽しむことができ、初めてスキーを体験される生徒様にも安心安全のゲレンデです。

## サホロリゾートスキースクールからのお願い

- しおりについて
  - 多くの情報が分かりますので、遅くとも(1ヶ月前程度)にご送付願います。
  - 班名簿は、学校側にて制作願います。技術レベルに分けて編成される事が望ましいです。(安全にレッスンを行うためにおいて、最大人数は1班につきスキー12名、スノーボード8名が望ましいです)
- ゼッケンについて
  - 学校で作るのであれば学校名・名前・番号の記載がはっきりした物をお願い致します。特に名前は一目で分かるものが望まれます。
- レッスン時の服装について
  - レッスン中は、帽子・手袋・ゴーグル・ゼッケンの着用を義務付け願います。(安全確保の為1点でも欠けるとレッスンに支障が出てまいります)
  - アンダーウェアを必ず着用し防寒に充分配慮するよう事前にご指導ください。
  - ピアスは凍傷の原因となりますので、禁止して下さい。
  - スキーに不要なもの(ウエストポーチ、携帯電話など)はレッスンの妨げになりますので、携帯しないようご指導願います。
  - サングラスについては、極力避けて下さい。(メガネをかけたままゴーグルが付けられます)
- スキー講習班の分け方について
  - 1 スキースクール講習班
    - スキー経験の無い方、ほんの少し滑られる方(1クラス8名程度が望ましい)
    - 初級者/リフトに一人に乗れ、スキーをハの字にして滑られる方
    - 中級者/スキーを平行に近い形(二の字)で、中斜面を滑られる方
    - 上級者/スキーを平行にして、中・急斜面をコントロールして滑られる方
  - 2 スノーボードスクール講習班
    - 初心者/全く初めての方から少し滑られる方
    - 初級者/スノーボードを履いてリフトの乗り降りができる方
    - 中級者/中斜面で連続ターンができる方
    - 上級者/上級者/急斜面でドリフトターンができる方
- フリー滑走について
  - レッスン開始前昼休み及び、レッスン終了後のフリー滑走については、学校の指示のない限り禁止させていただきます。
- 障害者リストについて
  - 配慮したレッスンをおこない、安全確保を目的とします。
  - 責任を持ってプライバシーの保護に努めます。
- 体調・安全管理について
  - 体調不良者が出た場合、インストラクターから修学旅行担当者に連絡が入ります。各班のインストラクター又はスクールの担当者が現地まで行き生徒を引率して学校本部までお連れします。
  - ケガ発生における対処法
    - インストラクターから修学旅行担当者に連絡が入ります。
    - インストラクターからパトロールに連絡。
    - パトロールが現場に行き、ケガの症状を見てスノーモービルで降ろすかボートで降ろすか判断する。
    - パトロール室で応急手当をする。
    - ケガの症状で
      - 救急車で病院
      - ホテルの車両で病院
      - 学校本部へお連れします(病院・車の手配はパトロールが行います)